

昇級者選考経緯

コスモス短歌会

選者十四人で討議

あらかじめ各選者が資料に目を通し、一月十日(土)、日本教育会館で選者会議を開催し、昇級者の選考をおこなった。

当日の出席者は、小島ゆかり編集人をはじめ計十四人の選者が集まった。高野公彦、影山一男、桑原正紀、木畑紀子、大松達知、田宮朋子、風間博夫、田中愛子、水上比呂美、原賀璽子、松尾祥子、小島なお、小田部雅子と編集部から中村敬子(記録係)、事務室から資料の面で赤崎美香子に加わり、各欄の昇級者を決定した。決定の方法は例年と変わらず、この二年間の掲載歌数に拠った。

昇級の基準

- ①「その一集」から「月集シリウス」への昇級……九人。
②「あすなる集」から「その一集」への昇級……二十一人。
③「その二集」から「あすなる集」への昇級……二十六人。
- 昇級の基準は毎年同じではなく、その年の選者会議や編集会で決める。今年の基準は次の通りである。【①は、この二年間に八回以上特選に選ばれた人、②は、この二年間の歌が九十八首以上掲載された人、③は、この二年間に歌が八十九首以上掲載された人】これに該当する人をそれぞれ昇級者として選出した。「この二年間」とは二〇二四年一月号～二〇二五年十二月号を指す。

「月集シリウス」へ推薦します

青野 恵子(群馬)
高橋梨穂子(新潟)
栗山 貴臣(福岡)

清水佑太郎(千葉)
伊田 史織(大阪)

荒川ゆみ子(東京)
瀬尾 恵(鳥取)

矢沢 靖江(東京)
阿野 康子(山口)

「その一集」へ推薦します

成田 裕子(青森)
清水 美里(東京)

引間 三郎(埼玉)
富永 弘(東京)

秋山 幸子(千葉)
本土 和子(東京)

高橋美羽子(神奈川)
宮 梓一(東京)

金子 英子(新潟)
岩館 澄江(愛知)
松岡 綾子(香川)
春野 直子(熊本)

星野 尚子(新潟)
田原 五郎(京都)
尾花 照子(福岡)

大沢 律子(岐阜)
大池アザミ(大阪)
酒井 恵子(長崎)

池田あつ子(愛知)
樺 か乃(広島)
小森田より子(熊本)

「あすなろ集」へ推薦します

くどうれいん(岩手)

阿部 恭子(茨城)

水鳥 葉子(茨城)

谷川 恵(埼玉)

梶原 和美(千葉)

太田喜美子(神奈川)

小沢 説子(神奈川)

松下 誠一(東京)

松本 遊(東京)

三木 康史(東京)

小笠原麻美(新潟)

桜井奈穂子(新潟)

佐藤 弥生(新潟)

佐野 庸子(新潟)

岩城 静子(富山)

鈴木美恵子(長野)

平原 美佳(静岡)

椋本 信枝(静岡)

谷口久美子(三重)

高田枝未子(兵庫)

山添 聖子(奈良)

川村 りら(鳥取)

吉方 明美(広島)

高木まさ子(香川)

江越 国弘(長崎)

瀬野 茂子(宮崎)

詠草提出についての注意

一、昇級者は必ず、新所属欄に○印をつけて下さい。

四、郵送の場合は詠草だけを送って下さい。また、速達での投稿はご遠慮下さい。

八、詠草のかなづかいは、旧かなづかいでも新かなづかいでもかまいませんが、詠草全体を同じかなづかいで統一して下さい。新かなづかいの場合は詠草用紙の氏名の下に*印を書いて下さい。

二、締切日の二十三日は必ずお守り下さい。

五、住所変更、電話番号変更等については、詠草とは別便でお知らせ下さい。

三、本誌とじ込みの詠草用紙にお書き下さい。所属欄、氏名、都道府県名、入会年月などを記入して下さい。(新入会員は「その二集」に○印をつけて下さい)。パソコン印字原稿の場合も同じ必要事項をお書き下さい。

六、詠草の送り先は、「コスモス短歌会」です。詠草の文字はわかりやすく書いて下さい。極端なくずし字や癖のある字は間違いのものになりますし、選歌、校正の際の妨げになります。原則として鉛筆書きは避けて下さい。読みにくい固有名詞などには読みがなを

*毎月の「選者小言」の次の頁に、詠草の書き方、提出方法について詳しく掲載されています。ご参照下さい。

(事務室)